

演題:「救命し得たパラコート中毒の一例」

研修施設 与論徳洲会病院  
所属施設 湘南鎌倉総合病院 2 年次  
氏名 大江恵華

発表方式 ・発表方式検討会方式

パラコートとジクワットの合剤を自殺目的に飲用し腐食性食道炎、急性腎障害、肺線維症を併発するも救命し得た症例を報告する。

症例は 44 歳、男、薬剤飲用量不明、飲用後来院時間 3 日後、嘔吐、食思不振を主訴に来院。来院時血圧 110/75mmHg、脈拍 131/分。初診時採血上、BUN38.2 mg/dL、Cre5.4 mg/dL と急性腎障害あり。CT 上右下葉の無気肺像あり。上部消化管内視鏡検査施行し、腐食性口内炎と腐食性食道炎の像あり。

入院時より絶食点滴管理で経過観察。入院第 3 病日で Cre はピークアウトし、CT 上右下肺に肺繊維像を疑う所見が出現するも呼吸状態の悪化は認めず。呼吸障害・腎障害の悪化、食道炎の悪化を認めることなく経過し、入院第 7 病日より食事摂取再開。全身状態安定し経過良好であったため入院第 18 病日に自宅退院となった。その後の外来フォローも問題なく経過している。